

2023年 6月 卒後藤谷塾 議事録  
開催日 2023年 6月14日(水) 7:00~8:00

■活動報告

- ①所属部署
- ②活動内容
- ③困っていること、その他相談など

【6期生】

A(山梨県)

- ①看護部
- ②透析室
- ③なし

B(茨城県)

- ①看護部 外来
- ②救急外来患者対応、救急搬送時救急車同乗、褥瘡管理、患者受け持ち、医師の指示・処方の代行入力、NPPV管理
- ③なし

C(三重県)

- ①看護部
- ②透析室、精神科病棟患者管理
- ③なし

D(神奈川県)

- ①看護部
- ②特定集中治療室看護師業務
- ③なし

【7期生】

E(東京都)

- ①看護部 外科、救急外来で研修中
- ②特定行為の実践、救急患者対応、入院患者管理、処置の介助など
- ③なし

F(神奈川県)

- ①看護部

②特定行為実施、入院患者の管理/急変対応、受け持ち患者対応、血管内手術助手、開頭手術助手、救急初期対応/入院指示

③今のところなし

G(東京都)

①看護部

②病棟患者管理、PEG 交換など特定行為実施

③なし

H(福岡県)

①看護部

②内科研修、内科入院患者の受け持ちと入院管理、特定行為実践

③なし

J(愛知県)

①看護部

②内科・麻酔科での研修、整形外科手術介助、入院患者管理、特定行為実践

③なし

K(神奈川県)

① 総合診療部

② 担当患者を受け持ち（現在 5 人）指導医の指導を受けながら診療へ介入

入院対応、発熱外来、Dr.car 搬送、特定行為（A line、PICC）、ラピッドレスポンス担当

③ なし

L(神奈川県)

①看護部 脳神経内科研修中

②担当患者の病棟管理、点滴、処方 of 代行処方、特定行為の実施

③なし

#### ■症例発表

NP「糖尿病教育入院中に発生した緊急疾患」

一文サマリー：

慢性腎臓病、小脳梗塞、急性非代償性心不全の既往がある 60 歳代男性が、糖尿病の教育入院目的で入院となった。入院 12 日目に 39 度台の発熱を認め介入した症例。

・入院数か月前から右側胸部に吸気時疼痛の自覚あり→入院後エコー上異常認めず。

# 1 肺化膿症+肺炎随伴性胸水

# 2 2 型糖尿病

- ・肺化膿症：微生物感染による肺実質の壊死。壊死性肺炎、肺壊疽、肺膿瘍なども同義。

X線写真では空洞、肺内の鏡面像 CT では空洞や壊死層の検出感度に優れる。

原因菌＝嫌気性菌、*Peptostreptococcus* spp、*Prevotella* spp、*Bacteroides* spp、

*Fusobacterium* spp、*Streptococcus anginosus* group *Staphylococcus aureus*、

*Klebsiella pneumoniae* その他グラム陰性桿菌

治療；抗菌薬治療が基本。画像所見が癒痕化、安定するか消失するまで継続。通常数か月を要する。

- ・膿胸：一般概念としては「胸腔内に膿が貯留した病態」

臨床的には胸腔穿刺の結果 ・(肉眼的)膿性胸水、胸水 Gram 染色または培養で微生物が検出、胸水の pH<7.2 未満 で判断。膿胸の基準を満たさない、肺炎に伴う胸水は肺炎随伴性胸水

治療；治療期間は定まったものはない。

急性期での糖尿病管理で必要なこと

- ・責任インスリン
- ・血糖値管理
- ・糖毒性

入院中の血糖管理について

明確なエビデンスはない。無自覚を含めた低血糖を起こさないことが重要。